

たくさんの置き土産を残した通し行進者「五十嵐成臣」さんに感謝

参加者総数626名 署名総数44筆 海外青年支援募金62,001円

いよいよ最終日となりました。JR観音寺駅には、続々と参加者が集まります。出発式では森川善弘観音寺原水協理事が挨拶。観音寺市の市長さんなどのペナントに協力を頂いたと報告のあと、県境まで元気に行進しようと呼びかけました。今日に行進にはたくさんのお子どもたちが参加しました。しかも県境に近づくほどに、参加者が増えるのです。マルナカの休憩所で新婦人の方が5人、JR豊浜駅付近で1人そして、県境ちかくで2人といった具合でした。到着が10分遅れで到着。すぐに引き継ぎ集会が始まりました。

集会は、愛媛県原水協が進行しました。香川県の行進報告は藤沢義輝香川県国公共闘会議議長が、①1県8市9町全ての自治体を訪問し3市長2町長が激励、他市・町長のメッセージを頂いた②行進参加者の特徴は青年の参加、とりわけ医療生協の新入職員が多く、総計600人を越えたと報告。③これらの成果の原動力は通し行進者「五十嵐成臣」さんと県内行進者松永始さんの力だったと報告。続いて五十嵐成臣さんが香川県の行進についてのお礼と愛媛県での行進についての決意を述べました。また県内通し行進者松永始県原水協筆頭代表理事は核兵器廃絶の原点は「原爆の火」であることを強調し、この火を持つての行進で禁止条約発効に向け草の根での活動をさらに大きく盛り上げようと呼びかけました。

香川県の報告を受け、片岡朗県原水協事務局長は、今日から7月8日高知県境まで平和を訴えて行きたい、そして世界大会にはバス1台で参加の決意をして挨拶。さらに愛媛県新婦人の水野真理子事務局長が、コープ生協での署名活動や、県母親大会で「ピースボート」の方の講演で平和を学んだと、活動の一端を紹介し、行進の決意としました。

横断幕の引継ぎのあと全員で写真撮影、総勢約100人の参加となりました。



JR観音寺駅での出発集会



愛媛県境での引き継ぎ集会